

中期経営計画（令和8年度～令和10年度）

（公財）埼玉県公園緑地協会

1 経営方針

埼玉県指定出資法人のあり方に関する報告書に示された内容を踏まえ、収益力の強化などによる経常収支の改善を図るとともに、DXの推進等により、業務の生産性向上と利用者サービスの高度化を推進し、安全・安心で魅力あふれる公園環境を創出する。

2 経営目標・経営指標

（1）経営目標及び経営指標

経営目標	経営指標	令和8年度	令和9年度	令和10年度
(1) 魅力的なイベント・サービス向上等による利用者の愛着・信頼度向上	NPS（ネット・プロモーター・スコア） ¹	全公園での実施	R8を上回る数値	0以上かつ R9を上回る数値
(2) 新事業の創出等による収益力の強化 ²	利用料金・事業収益等（百万円、消費税別）	2,683	2,835	3,000
(3) 戦略的な経営資源管理と組織基盤の強化	多能工化の推進（多能工化指数） ①×② ①普通救命講習の受講率 ②生成AIを操れるプロパー職員割合	15%	50%	100%
	多能工化の推進（その他重点資格の取得者数） ①+② ①第3種電気主任技術者の資格 ②FP2級以上	1名以上	1名以上	1名以上
	積極的な運用を行う額（億円）	1.6億円－元本割れ損	1.7億円－元本割れ損	1.8億円－元本割れ損
(4) DXの推進によるサービス向上と効率化	生成AI研修の受講率	50%以上	80%以上	100%
	規程類のAI対応化率	20%以上（重要な規程）	40%以上（その他規程）	100%（要項・要領）
	受付チャットボット等の整備率	5公園	10公園	16公園
	ソーシャルリスニング実装率	4公園（アソビュー導入施設）	10公園（利用者の多い公園）	16公園

(5)防災・安全の確保	防災・消防訓練の地域住民を含む参加人数 ³	600人以上	600人以上	600人以上
-------------	----------------------------------	--------	--------	--------

- 1 スコアの目安 0～+30：良好／-30～0：平均的
- 2 指定管理受託料、管理委託受託料を除く
- 3 R6実績568人

3 実施方策

(1) 魅力的なイベント・サービス向上等による利用者の愛着・信頼度向上

施設特性に応じた適切な管理運営と地域連携を推進する。ニーズに即した事業展開を通じ、公園の機能充実と利用者にとっての親しみやすさと安心感の醸成に努める。

《主な取組》

- 特徴を活かした公園づくりと誰もが楽しめるサービスの提供
- 年間を通じて多様な利用者ニーズを反映した事業の展開
- アーバンスポーツ等の多様なスポーツ文化醸成に貢献
- 多様な利用者に寄り添ったサービスの充実
- 地域の核となる公園として、地域との連携及び子育て支援事業の一層の充実
- イベントやスポーツなどを通じた地域経済・文化への貢献
- ボランティア、NPO、大学、各種団体などとの連携・協働による魅力ある公園づくりの推進
- 埼玉県 SDGs パートナーとして掲げた環境、社会、経済の重点的な取組を実施

(2) 新事業の創出等による収益力の強化

新たな事業の創出などにより収益源の涵養に努め、県費負担割合の低減を進める。

得られた収益を投資等に活用することで、県営公園の魅力向上と協会の競争力の維持・強化を図る。

《主な取組》

- 公園利用の促進に資する魅力的な新事業の展開と収益拡大
- 公園の多目的利用の促進と新たなスポーツ・文化イベントの開催
- 利用者ニーズの高い売店やカフェの飲食サービスの拡充
- 公園の特性に合わせたオリジナル商品の開発販売
- 地元食材等を活かした飲食メニューの提供による地産地消への貢献
- 夏季プールのサービス向上等による収益力の強化
- 公園の特徴を活かした広告事業の展開
- 事業収益を魅力ある公園づくりに還元するため積立資産を活用

(3) 戦略的な経営資源管理と組織基盤の強化

機動的な人員配置と専門人材の育成により、組織運営の安定を図る。デジタル活用や資産運用を通じ、事務の効率化と持続可能な経営基盤を構築する。

《主な取組》

- 多様化する社会的役割に対応可能な柔軟性の高い組織の構築
- 職員の時季的な配置換えや兼務発令、繁忙期や緊急時の応援体制の実施
- 職員の生産性・サービス水準の向上を図る人材育成
- 魅力ある公園づくりに向けた県内外の先進事例等の研修・調査
- 積立資産等を活用した運用額の拡大による財政基盤の強化

○業務の見直しや業務システム導入による効率化、コスト縮減

(4) DXの推進によるサービス向上と効率化

「生産性向上」「業務の効率化」「サービス向上」を重点事項に据え、「誰一人取り残さないAIとの協働」を目標とした体制構築を推進する。業務プロセスの改革と利用者満足度の最大化を両立し、持続可能な公園経営を実現する。

《主な取組》

- DX環境に対応した人材育成による生産性向上
- 規程類の形式統一によるAI活用の推進
- 樹木点検等システム・公園内損傷通報システム導入による業務効率化
- チャットボット導入による利用者の利便性向上
- AIを活用したソーシャルリスニングによる、ニーズ分析・サービス改善の仕組み構築
- 公園利用者の利便性向上につながる情報の随時発信
- 公園管理業務におけるデジタル技術の実装・活用
- AIを活用した業務の効率化・サービス向上

(5) 防災・安全の確保

計画的な施設整備や地域連携、日々の点検・環境整備を継続し、不測の事態への備えと利用者の安全確保に努める。また、適切な情報管理と危機意識の共有を徹底し、安心できる公園環境を推進する。

《主な取組》

- 「危機管理9訓」の徹底によるリスク認識向上と信頼される組織づくり
- 防災活動拠点としての円滑な運営と防災用設備の適切な維持管理
- 業務継続計画や防災活動拠点要領に則った災害への備え
- 地域と一体となった防災訓練・防犯パトロールの実施及び警察などの関係機関との連携強化
- 自然災害や疫病等による利用者の安全確保のための体制強化
- 防犯カメラの適切な配備、状況に応じた警備の実施
- 事故情報の共有化と施設・設備の安全総点検の実施
- 利用者への適切な注意喚起による安全の確保
- 樹林地における下枝剪定による見通しの確保及び枯損木の伐採の実施
- 「個人情報保護マネジメントシステム」の適正な運用と更新

4 財務計画

(百万円 ٪)

科目	R7 年度	R8 年度		R9 年度		R10 年度	
	金額	金額	R7 対比	金額	R8 対比	金額	R9 対比
収入合計	5,328	5,480	2.9%	5,660	3.3%	5,853	3.4%
公益目的事業収入	4,455	4,569	2.6%	4,730	3.5%	4,895	3.5%
(内訳) 受託料	2,749	2,789	1.5%	2,817	1.0%	2,845	1.0%
利用料金	1,544	1,610	4.3%	1,738	8.0%	1,870	7.6%
事業収益等	162	170	4.9%	175	2.9%	180	2.9%
収益事業収入	865	903	4.4%	922	2.1%	950	3.0%
(内訳) 利用料金(駐車場)	194	225	16.0%	230	2.2%	237	3.0%
事業収益等	671	678	1.0%	692	2.1%	713	3.0%
法人会計収入	8	8		8		8	
支出合計	5,337	5,495	3.0%	5,669	3.2%	5,862	3.4%
公益目的事業支出	4,672	4,824	3.3%	4,978	3.2%	5,152	3.5%
収益事業支出	608	614	1.0%	632	2.9%	651	3.0%
法人会計支出	57	57		59	3.5%	59	
当期経常増減額	△9	△15	66.7%	△9	-40.0%	△9	
当期一般正味財産増減額	△9	△15		△9		△9	

※令和9年度以降については、管理する公園が未定のため、令和8年度と同じ公園を管理することを想定して積算した。